

令和3年度 山口県学力定着状況確認問題の結果について 【中学校】

下松市教育委員会

1 結果の公表 にあたって

令和3年度「山口県学力定着状況確認問題」（令和3年10月20日を基準日として実施）の結果についてお知らせします。

本調査は、小学校5、6年生と中学校1、2年生を対象として、国語、算数・数学（小学校5年生は理科、中学校2年生は理科・英語も実施）の学力の状況や児童生徒の生活習慣、学習環境の状況を調査し、県内すべての児童生徒の学力の確実な定着と向上を図ることを目的として実施しました。

今回の結果をもとにして、本市におきましても、学校と家庭・地域が連携・協働し、一体となった取組を推進してまいります。

2 教科に関する 問題の結果 について

- 【国語】 1年生・2年生ともに県平均正答率を上回っている。
- 【数学】 1年生・2年生ともに県平均正答率を上回っている。
- 【理科】 県平均正答率を上回っている。
- 【英語】 県平均正答率を大きく上回っている。



→ どの教科も、県平均正答率を上回っています。一方で、記述式問題（考えを書く、理由や方法を説明する等）や、思考力や判断力を要する問題（目的や意図を考えて答える、理由を明確にして答える、学んだことを活用して答える等）は、一定の成果は見られるものの、やや低い正答率でした。授業等で各教科に応じて、考えたことを分かりやすく表現する力をどのように育成するかが課題となります。

◎（市平均正答率の高かった問題） ▲（市平均正答率の低かった問題）

国語

- ◎ 主述の関係に気を付け、正しい表に直すこと（1年）
- ◎ 歴史的仮名遣いを、現代仮名遣いに直すこと（2年）
- ◎ 抽象的な語句の表す内容を理解すること（2年）
- ▲ 文の中における被修飾語を捉えること（1年）
- ▲ 下書きの構成の工夫について考えること（2年）



数学

- ◎ 分数の乗法の計算ができること（1年）
- ◎ 計算のきまりに従って計算すること（2年）
- ▲ 表やグラフから数量の関係を求める方法を説明すること（1年）
- ▲ 高さの求め方について投影図を使って説明すること（2年）



理科

- ◎ 生物の中から植物を分類すること
- ▲ 2種類のハチミツの結晶化の有無から、多く含まれている糖類を考えること
- ▲ 身近な物理現象を日常生活と関連付けて考えること

英語

- ◎ 日常的な話題について、情報を正確に聞き取ること
- ◎ 基本的な語や文法事項を理解して、会話の中で適切に使うこと
- ▲ 英語を読んで把握した内容について、適切に応じること



3 課題の見られた問題例

国語 下書きの構成の工夫について考える問題 【2年】

【説明的文章の一部】を読み終えた後に、Hさんは、その内容について感想文を書くことになりました。次の【感想文の下書き】を読んで、あとの問いに答えなさい。

- ① 私がこの文章を読んで特に印象に残ったのは、ルンバを例にした説明の部分です。あのルンバの例で、「内部からの力」と「外部からの力」のことがよりわかりやすくなりました。
- ② でも、ひとつ気になったことがあります。「『やる気』とは、人間の内部に存在している力のこと」という部分は、すぐに納得できませんでした。例えば、「課題を達成した時に、何かごほうびがもらえる」という場合には、「外部からの力」によってやる気が出ると思ったからです。
- ③ 今年の夏休みに母とある約束をしていました。「夏休み中に毎日お手伝いをすれば、欲しい物を買ってもらおう」というものです。私はこの約束を楽しみにして、毎日お手伝いをしました。そして、欲しい服を買ってもらいました。
- ④ このように、私は外部の力によってやる気が出てきた経験があります。つまり、内部からの力が出てくるきっかけとして、外部からの力が働くことがあると私は感じています。

【感想文の下書き】の構成には、どのような工夫がありますか。段落どうしの関係に着目して、あなたの考えを書きなさい。その際、①、②などの段落の番号を示しながら書きなさい。

※ 県平均正答率を下回り、20%台の正答率でした。

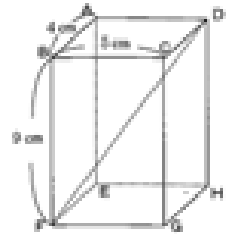
数学 高さの求め方について投影図を使って説明する問題 【2年】

右の図のような直方体があり、直方体の対角線DFの中点をMとする。このとき、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(2)点Mと四角形EFGHの各頂点をつないでできる四角形の体積を求めるために、点Mから面EFGHに垂線をひいたときにできる四角錐の高さについて調べます。高さは何cmになりますか。

また、その理由について、投影図を用いて説明しなさい。ただし、図には、必要な記号を書き込みなさい。

※ 県平均正答率と同程度の、10%台の正答率でした。



理科 光の性質を使って身のまわりの事象を説明する問題 【2年】

Yさんは、南向きの窓についていたカーテンをブラインドに付け替えた。次の(1)~(3)の問いに答えなさい。(問題(1)(2)省略)

(3) Yさんは、実験の後、新たな疑問をもったので、Aさんに相談した。次の二人の会話()に入る説明を答えなさい。

※ 県平均正答率を下回り、4%台の正答率でした。

山口さん：スラットの角度を調節すると、部屋に光が差し込み、光を取り込むことができたよ。部屋に光が入っているのに、外の景色は見えないんだ。外から見られたくないけど、部屋を明るくしたいときに便利なんだ。でも、この現象を、どうやって説明したらよいのだろう。

秋吉さん：ものが見えるということは、物体の表面で反射した光が目に届くからだと言習したよ。見上げるようにして、スラットのすき間を見ると、空は見えるの？

山口さん：うん。見上げるような角度にすると空は見えるけど、図4のように、まっすぐ地面に平行な視線で見ると外の景色は見えないんだ。

秋吉さん：つまり、木や建物などの物体で反射した光は()だから見えないんじゃないかな？

4 今後の取組

★ 学 校

- 学校の組織的取組の強化
(教科・学年の枠を超えた研修の推進、学力向上プランの重点化等)
- 児童生徒の「学習力」の向上をめざす授業改善
(「キラリくだまつ授業づくり」の活用、誤答分析を生かした授業改善等)
- 校内研修の活性化と指導の充実
(「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業改善、「やまぐち学習支援プログラム」の活用、個に応じた補充学習等)

★ 家庭・地域

- 学習・生活習慣の確立
(「家庭学習の手引き」等の活用、家庭における生活習慣の見直し等)
- コミュニティ・スクールを生かした学習支援
(地域の人材を活用した授業や取組等)

★ 下松市教育委員会

- 「キラリくだまつ授業づくり」に基づいた授業改善の推進
- 課題と考えられる状況等の情報提供
- 学校訪問等による指導・助言
- 「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業づくりに関する指導・助言
- 下松市学習指導実践研究校の指定
- 下松市教育研究所における実践研究とその普及